

第2章 中間実績値の評価

1 評価の方法

- 福岡市独自に実施した「市民の健康づくりに関するアンケート調査」や計画策定時に用いた調査結果，国のデータ等をもとに分析を行う。
- 計画に掲げた56の指標（うち再掲5指標を含む）について，①各指標の動向を「改善している」「変わらない」「悪化している」「測定不可」の4段階で分析する「改善/悪化分析」を行う。
また，②福岡市と全国の健康づくり指標を比較して，福岡市の指標の改善の進捗が全国に比べて進んでいるか遅れているかを分析する「5象限分析」を行う。
- これらの分析・評価を踏まえ，最終評価（32年度）までに重点的に取り組むべき分野を検討する。

2 主要指標の動向

主要指標である下記3つの指標の動向について，平成24～28年度の5年間において，

- ・「健康であると感じている人の割合」は1.4%上昇している。
- ・「年に一回健康診断を受けている人の割合」は3.8%上昇している。
- ・一方で，「健康づくりに取り組んでいる人の割合」は3.2%減少している。

●健康であると感じている人の割合の上昇

対象	計画時(平成24年度)	現状値(平成28年度)	目標値(平成32年度)
20歳以上	76.1%	77.5%	80%

出典：福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査

●健康づくりに取り組んでいる人の割合の上昇

対象	計画時(平成24年度)	現状値(平成28年度)	目標値(平成32年度)
20歳以上	57.6%	54.4%	75%

出典：福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査

●年に一回健康診断を受けている人の割合の上昇

対象	計画時(平成24年度)	現状値(平成28年度)	目標値(平成32年度)
20歳以上	66.8%	70.6%	80%

出典：福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査

3 健康づくり指標の改善/悪化分析（abcd 分析）

（1）評価方法

計画に掲げた指標について、計画策定時の値と目標値、直近の現状値を比較し、「a：改善した」「b：変わらない」「c：悪化している」「d：測定不可」の4つに分類した。

【評価区分の定義】

評価区分		評価基準
a	改善した	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標値達成 ・ 計画時と比べ現状値が目標値に対して改善傾向
b	変わらない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画時と比べ指標に改善が見られない ・ 年度ごとに数値の改善と悪化を繰り返しており、総じて見れば改善へは向かっていない
c	悪化している	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画時と比べ現状値が目標値に対して悪化傾向
d	測定不可	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定した指標または把握方法が異なるため評価が困難となったもの

（2）評価結果

健康づくり指標のうち、31項目で改善が見られ、4項目が変わらず、21項目で悪化が見られた。なお、測定不可の項目はなかった。

施策体系別では、「女性の健康づくり」や「高齢者の健康づくり」では総じて改善が見られた。一方、「生活習慣病対策の推進」では、歯・口腔の健康関連は改善が見られたが、栄養・食生活や飲酒関連は指標の悪化が見られた。また、健（検）診関連は、改善している項目と悪化している項目が見られた。

【健康づくり指標の評価結果（施策体系別）】

分類（施策体系）	指標数	a 改善	b 変化なし	c 悪化	d 測定不可
主要指標	3	2	0	1	0
1 生活習慣病対策の推進	25	9	2	14	0
2 こころの健康づくり	3	2	1	0	0
3 次世代の健康づくり	8	6	0	2	0
4 女性の健康づくり	4	4	0	0	0
5 高齢者の健康づくり	7	6	1	0	0
6 みんなで取り組む健康づくり	6	2	0	4	0
合計	56	31 (55.4%)	4 (7.1%)	21 (37.5%)	0

※指標数 56（うち再掲 5 指標を含む）

【健康づくり指標の評価結果】

a 評価（31項目）

指標	対象	計画値	現状値	目標値
健康であると感じている人の割合の上昇	20歳以上	76.1%	77.5%	80%
年に一回健康診断を受けている人の割合の上昇	20歳以上	66.8%	70.6%	80%
1日あたりの歩数の増加	女性（20歳以上）	7,281歩	7,706歩	8,500歩
成人の喫煙率の減少	女性（20歳以上）	11.0%	7.3%	4%
COPDを知っている人の割合の上昇	20歳以上	21.4%	28.6%	80%
80歳で20歯以上の自分の歯を有する人の割合の上昇	75～84歳	41.2%	55.8%	50%
一人平均むし歯数の減少	12歳児	1.28歯	1.02歯	1歯未満
がん検診受診率の上昇	子宮頸がん検診	31.8%	36.8%	50%
	乳がん検診	37.7%	40.4%	50%
特定健診実施率の向上 【再掲あり】	特定健診	19.5%	23.0%	40%
自殺者数の減少	自殺者数の減少	328人	233人	256人以下
ストレスのために体調を崩す人の減少	女性（12歳以上）	40.6%	39.3%	36%以下
22時以降に就寝している3歳児の割合の減少	3歳児	36.6%	30.6%	減少
1日3回の食事を規則正しく食べている3歳児の割合の上昇	3歳児	89.6%	94.6%	100%
児童生徒の体力運動能力の向上 ※全国平均を50とした場合の値	小学校5年生（男子）	49.7	50.6	50
	小学校5年生（女子）	47.6	49.4	50
	中学校2年生（男子）	47.3	49.3	50
	中学校2年生（女子）	47.3	48.5	50
18～20歳代のやせの女性の減少	18～20歳代のやせの女性	25.0%	20.7%	15%以下
20歳代女性の喫煙率の減少	20歳代女性の喫煙率	13.6%	5.8%	6%以下
妊婦の飲酒の防止	妊婦の飲酒率	3.5%	2.0%	0%
ロコモティブシンドロームを知っている人の割合の上昇 【再掲あり】	40歳以上	9.5%	28.6%	80%
健康で普通に生活している60歳以上の人の割合の上昇	60歳以上	44.0%	50.6%	50%

指標	対象	計画値	現状値	目標値
健康寿命の延伸 (要介護2以上に認定された 年数)	男性	80.0歳	80.7歳	現状を 上回る
	女性	82.9歳	83.6歳	現状を 上回る
ふれあいネットワークを構築して いる自治会・町内会数の増加	自治会・町内会	1,635	1,793	2,040
認知症サポーターの人数の増加	認知症サポーター 養成数	21,654人	76,897人	60,000人
食生活改善推進員が活動している 校区数の増加	活動校区数	101校区	107校区	130校区
ウォーキング人口の増加	20歳以上	30万人	38万人	50万人

b 評価 (4項目)

指標	対象	計画時	現状値	目標値
受動喫煙の機会がある人の割合の 減少	12歳以上	58.5%	58.5%	25%
がん検診受診率の上昇	胃がん検診	37.4%	37.6%	50%
ストレスのために体調を崩す人の 減少	男性 (12歳以上)	25.9%	26.0%	23%以下
自立して生活している 60歳以上 の人の割合の上昇	60歳以上	89.9%	90.0%	現状を 上回る

c 評価（21項目）

指標	対象	計画時	現状値	目標値
健康づくりに取り組んでいる人の割合の上昇 【再掲あり】	20歳以上	57.6%	54.4%	75%
朝食を毎日食べる人の割合の上昇	男性（20～30歳代）	63.2%	51.3%	70%
	女性（20～30歳代）	77.3%	60.9%	90%
野菜を毎食食べる人の割合の上昇	20歳以上	32.4%	22.1%	50%
1日あたりの歩数の増加	男性（20歳以上）	7,621歩	7,419歩	9,000歩
睡眠で休養が十分とれていない人の割合の減少	男性（30～40歳代）	29.9%	30.9%	24%
	女性（30～40歳代）	31.5%	33.5%	25%
生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている人（一日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の人）の割合の減少	男性（20歳以上）	13.4%	14.4%	11%以下
	女性（20歳以上）	10.1%	11.9%	8%以下
成人の喫煙率の減少	男性（20歳以上）	26.4%	26.8%	15%
がん検診受診率の上昇	大腸がん検診	33.7%	30.5%	50%
	肺がん検診	38.1%	23.9%	50%
特定保健指導実施率の向上 【再掲あり】	特定保健指導	35.4%	27.4%	40%
新規透析導入者の割合の減少	新規透析導入者の割合	289人 （人口100万人対）	296人 （人口100万人対）	217人 （人口100万人対）
朝食を毎日食べている児童生徒の割合の上昇	小学生	90.8%	87.2%	100%
	中学生	85.7%	83.0%	100%
健康ふくおか10か条を知っている人の割合の上昇	12歳以上	14.5%	5.4%	30%
	上記のうち65歳以上	24.0%	9.3%	50%

d 評価（0項目）

※測定不可の項目はなかった。

4 健康づくり指標の5象限分析

(1) 評価方法

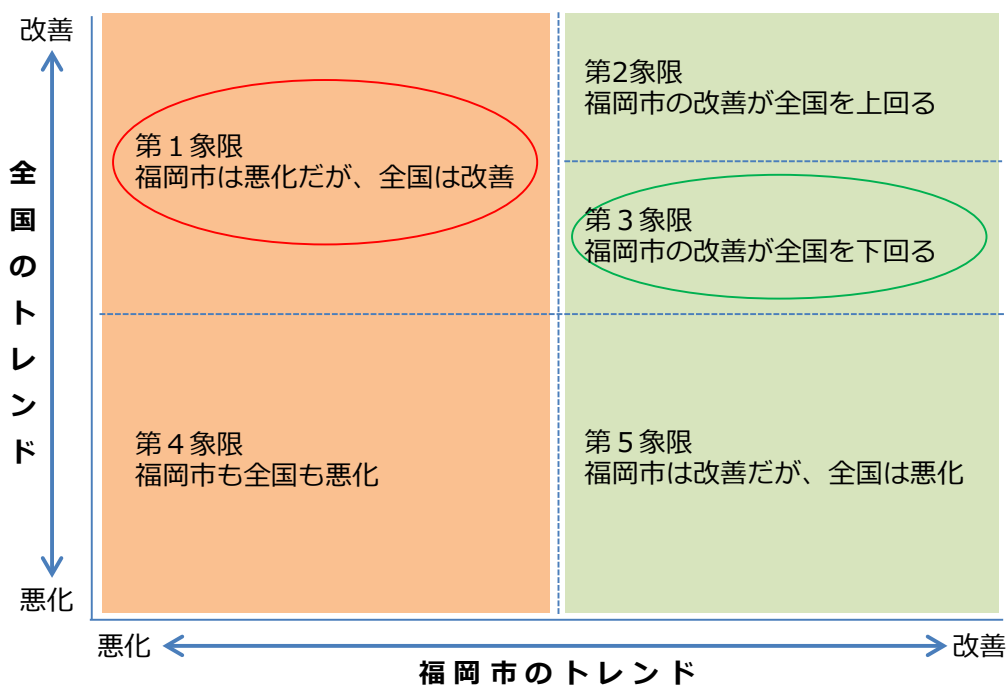
福岡市の健康づくり指標と、それに対応する全国の指標を比較し、福岡市の指標の改善の方向性を分析した。縦軸に全国の指標のトレンドを、横軸に福岡市の指標のトレンドをとり、その上で、指標を5つの象限に分けた。

まず、福岡市の改善/悪化、全国の改善/悪化を組み合わせることで4つの象限に分類した。

さらに、福岡市も全国も改善している指標のうち、福岡市の改善のトレンドが全国のトレンドを上回るものを第2象限、福岡市の改善のトレンドが全国を下回るものを第3象限とした。

このうち、全国的な健康づくりのトレンドと異なる分野については、改善できる余地が比較的多く残されていると考えられるため、第1象限の「福岡市は悪化だが全国は改善」している指標、福岡市・全国ともに改善しているが、第3象限の「福岡市のトレンドが全国を下回る」指標が「改善できる余地が大きい領域」であると考えられる。

図表：象限分析の概念図



(2) 評価結果

- 5象限分析の結果、第1象限は8項目（再掲含む）、第2象限が11項目、第3象限が11項目（再掲含む）、第4象限が11項目（再掲含む）、第5象限が4項目となった。
- 第1象限、第3象限に入る分野は、主要指標である「年に一回健康診断を受けている人の割合」を始め、生活習慣病対策の推進（飲酒、喫煙、がん検診、特定健診・特定保健指導など）が11項目、高齢者の健康づくりが3項目、女性の健康づくりが2項目、こころの健康づくり・次世代の健康づくりが1項目となっており、改善の余地が大きいと考えられる。

【健康づくり指標の5象限分析結果（施策体系別）】

分類（施策体系）	指標数	第1象限	第2象限	第3象限	第4象限	第5象限	分析不可
主要指標	3	0	1	1	1	0	0
1 生活習慣病対策の推進	25	7	4	4	7	2	1
2 こころの健康づくり	3	0	2	1	0	0	0
3 次世代の健康づくり	8	1	0	0	1	0	6
4 女性の健康づくり	4	0	2	2	0	0	0
5 高齢者の健康づくり	7	0	2	3	0	1	1
6 みんなで取り組む健康づくり	6	0	0	0	2	1	3
合計	56	8	11	11	11	4	11

※指標数 56（うち再掲 5 指標を含む）

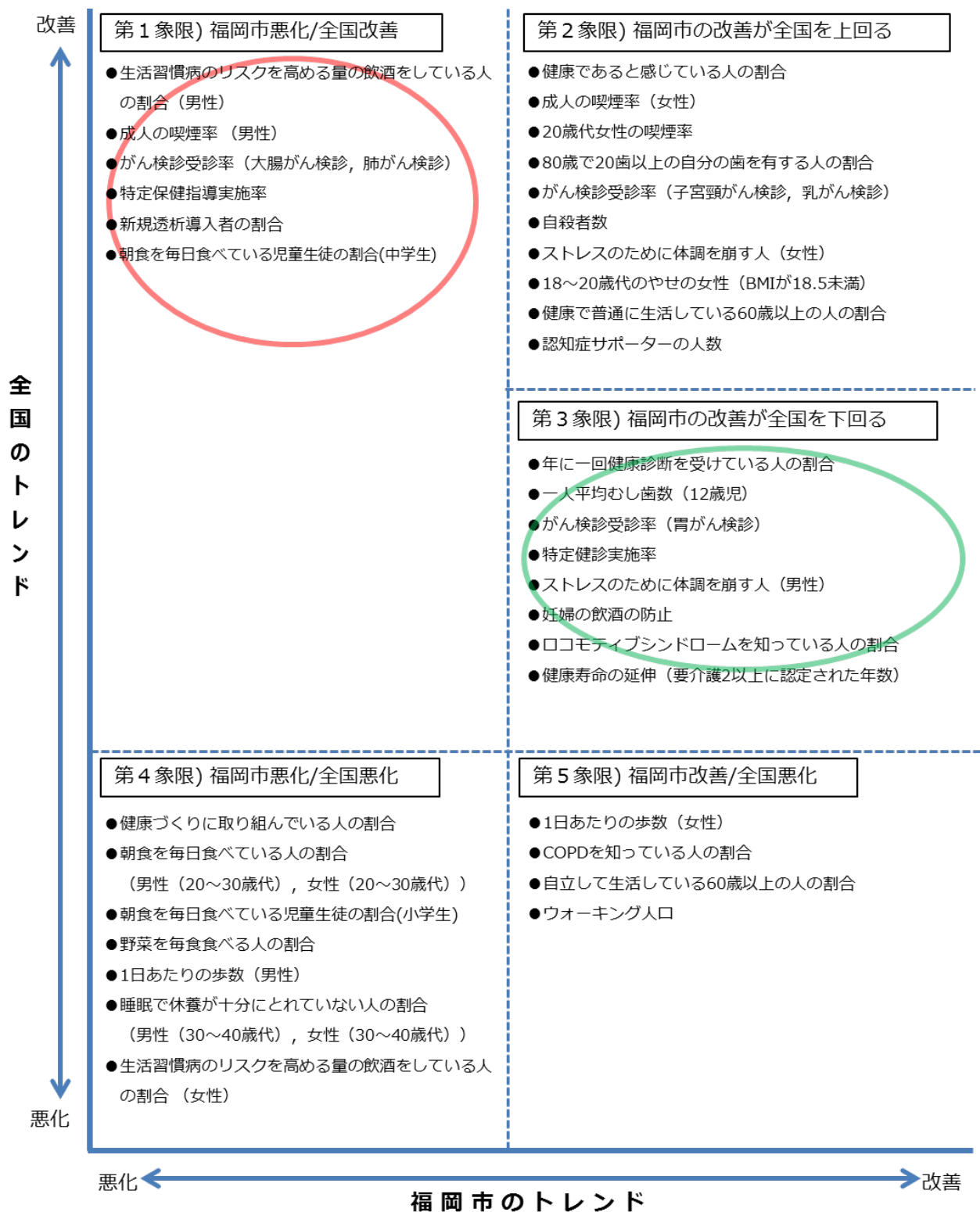
※分析不可：福岡市の指標に対応する全国の指標がないため比較できないもの

【第1象限・第3象限に分類される指標】

	指標
第1象限 (福岡市悪化/全国改善)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている人の割合の減少(男性 20 歳以上) ・成人の喫煙率の減少(男性 20 歳以上) ・がん検診受診率の上昇(大腸がん検診・肺がん検診) ・特定保健指導実施率の向上 ・新規透析導入者の割合の減少 ・朝食を毎日食べている児童生徒の割合の上昇(中学生)
第3象限 (福岡市の改善が全国を下回る)	<ul style="list-style-type: none"> ・年に一回健康診断を受けている人の割合の上昇 ・一人平均むし歯数の減少(12 歳児) ・がん検診受診率の上昇(胃がん検診) ・特定健診実施率の向上 ・ストレスのために体調を崩す人の減少(男性 12 歳以上) ・妊婦の飲酒の防止 ・ロコモティブシンドロームを知っている人の割合の上昇 ・健康寿命の延伸(要介護 2 以上に認定された年数)

【健康づくり指標の評価結果】

図表：5象限分析で分類した指標一覧



<p>分析不可</p> <ul style="list-style-type: none"> ●受動喫煙の機会がある人の割合の減少 ●22時以降に就寝している3歳児の割合の減少 ●1日3回の食事を規則正しく食べている3歳児の割合の上昇 ●児童生徒の体力運動能力の向上 (小学校5年生 (男子) (女子), 中学校2年生 (男子) (女子)) ●ふれあいネットワークを構築している自治会・町内会数の増加 ●健康ふくおか10か条を知っている人の割合の上昇 (12歳以上, 65歳以上) ●食生活改善推進員が活動している校区数の増加
